

- LEQUIO WORLD - 沖縄の日報新聞「琉球新報」の副読紙「週刊レキオ」沖縄のローカル情報満載。毎週水曜更新。

|レキオとは|サイトマップ|サイトポリシー|個人情報の取扱い|会社概要|

Welcome to LEQUIO WORLD!

大航海時代ポルトガルは
海洋国家「琉球」をレキオと呼んだ

HOME

ARTICLES

NEWS

FAQ

ABOUT

CONTACT

メインメニュー

HOME

レキオ最新記事

週刊レキオとは

このサイトについて

レキオの本

レキオに広告掲載

お問い合わせ一覧

レキオ最新記事

今週号の表紙

ぐるぐるグルメ

島ネタCHOSA班

ワシントコポスト

ワシントコポストに投稿

レキオス@メール

最新記事アーカイブ

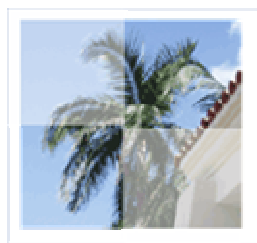
過去記事

検索

サイト内検索

Google™

Google 検索



レキオ最新記事 Articles

島ネタCHOSA班

「花ブロック」風と光は友達

(2010年8月12日掲載)

住宅の塀などでよく見かける「花ブロック」は沖縄だけのものと聞きました。本当でしょうか？ あと、その作り方や、いつ頃から使われるようになったのか、調べて下さい。(沖縄市在住Gさん 47歳)



左強度を保ちつつ風と光を呼び込む花ブロック

琉球新報
THE RYUKYU SHIMPO

琉球新報開発

りゅうちゃん

ROK ラジオ沖縄

DTV 沖縄テレビ放送

ヘイヘイオーライ…へい、塀に使われている「花ブロック」について調べるのねん？ お任せあれ、依頼者さんのモヤモヤも、毎日嫌になるこの暑さも、私がまとめてスッキリ吹き飛ばして見せましょうぞ！…すみません。暑さの方は無理です。でも「花ブロック」のことは心配ご無用！行って参ります！

● 温もり求め

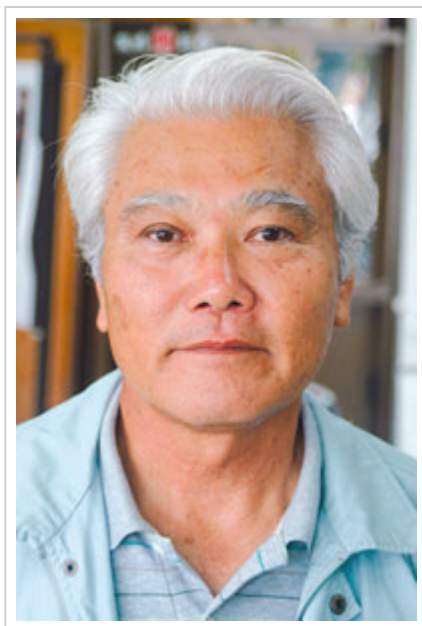
コンクリートのように固い決意でやってきたのは西原町小那覇にある合資会社・山内コンクリートブロックさん。下調べの結果こちらの会社、何と「花ブロック」の県内シェア80%にもなるんだとか。取材に対応して下さったのは代表者の安里享さん。早速、沖縄だけのものなのか伺ってみた。

「ええ、そうですよ。生まれも育ちも沖縄です」

おお～、やはり県産品なんですね。では、一体いつごろに開発されたものなのでしょう？

「ずばり1957年です」

さすが、ずいぶん正確にご存じなんですね？



安里 享さん

LEQUIO WORLD

(株)週刊レキオ社 〒900-0001

沖縄県那覇市港町2-16-1 6F

TEL: 098(865)5291 FAX: 098

copyright © 2007 - LEQUIO

WORLD -

当サイト上で公開中の記事・画像等の無断転用は一切禁じます。すべての著作権は(株)週刊レキオ社に帰属します。

「実はですね。この花ブロックを開発されたのは仲座久雄さんという方なのですが、仲座さんが57年に特許申請されてるんですよ。その時は『花ブロック』ではなくて『異型ブロック』として申請されているんですけどね。まあ、そういうわけで正確にお答えできるんです(笑)」 ということだったんですね(笑)。でも、一体なぜ開発されたんでしょう？

「そうですね～そもそもは1948年に米軍の工兵隊が沖縄にブロックを造る機械を持ち込んだことから始まります。持ち込まれた当時、沖縄の住宅と言えば、木造平屋が一般的な住宅でした。ですが、台風が多く日差しも強いという気象条件もあって時代と共にコンクリートで住宅を造る人がどんどん増えていったんです。ということは目隠しにもなりつつ風も通すブロックは塀や壁の一部に最適だということで、当然、需要も増えます。米軍が持ち込んだ機械で造るブロックは機能性はあっても、面白味がない。ただでさえ木にくらべて温かみのないものなのだから、どうせ使うのなら、もっとデザイン性があるものということで、仲座さんは開発されたようですね」

ふ～む。デザインを加えることで少しでも温かみを感じられるようにとすることか～。素晴らしいです！

● お握り！？

では、「花ブロック」はどのように造るんでしょうか？

「おおまかに言いますと、生コンクリートをデザインした型に流しそれを圧力で固めて造るんです。この生コンクリートの軟度、単位をスランプと言うんですが、これがポイントですね。ブロックに用いるものはスランプが1～0の軟度が低いものを用いるんです。例えるならお握りのような感じですね。米が一粒一粒つぶれていない状態、おかゆのようになっているものではいくら握ってもお握りにはならないでしょう(笑)」

上壁一面が花ブロック！ 見ごたえあります！
(写真提供・設計 有限会社 義空間設計工房 TEL 098-888-5303)



☆☆☆

なるほど～、花
ブロックは、開発
者の仲座さんの
温かい心で握っ
たお握りだったん
ですね。その舞
台裏を知り、花ブ

ロックという言葉が前にも増して優しい響きに聞こえてくる調査員なのでした。

ご依頼、お待ちしております

■「島ネタCHOSA班」では、あなたが普段から感じている「謎」を調査します。

〒900-0001 那覇市港町2-16-1 琉球新報開発ビル6階

週刊レキオ社「島ネタCHOSA班」係

Tel: 098(865)5291 Fax: 098(864)2605



このページを印刷する